

## 会議結果報告（令和 2 年度業務実績に関する意見）

評価報告書の項目別評価： 波 線

令和 3 年度第 1 回前橋市公立大学法人評価委員会（令和 3 年 8 月 2 日）

## 主 な 意 見

## 【年度計画 No. 10】

- ・資料 6 の 5 と関連していると思うが、その中の説明で、学部教育の改組の年次進行に合わせて令和 8 年度に実施すると記載がある。これは、C 評価が妥当なのか伺いたい。（後藤委員）  
→来年の 4 月から学部の学科再編を行うに当たり、大学院の改革がメインとなると考えている。研究大学を目指すためには、大学院の構成を大きく変えて、研究を自由にできるようにすることが重要。ただし、学部の再編の作業を進めるに当たり同時に作業をすることは教職員の負荷が大きすぎて、現実的ではないことが判明した。そこで、学部のカリキュラム編成を優先して先に準備し、大学院のカリキュラム検討は、学部再編がある程度順調に進んだ段階で取り組むとしている。早期履修制度は、後期からスタートするが、大学院の各学科の上にある専攻を統合して 1 専攻の博士前期課程、後期課程に変更しようと考えている。そのため、カリキュラムを大きく変更する必要があり、今後の検討を学部の再編の進行に合わせてじっくりと実施したい。（学長）
- ・大学院カリキュラムの再編に至れず C となっているが、今の説明を加えてもらい、大学として検討が進まなかったわけではなく、検討した結果、行わなかったと明記した方がきちんと検討したことが伝わると思う。（後藤委員）
- ・大学院の改組で、単に今年度改組していないから C ではなく、学部の改組に連動して令和 8 年度に改組するという意思決定をしたのであれば、意思決定のプロセス、ポジティブな書き方をすれば、C にする必要はないと思う。これに関連し、学部の改組が 6 プログラムに分かれるということだが、現行の学科がプログラムに移行していくということか。（花泉委員長）  
→学部の改組をし、来年の 4 月から学生を受け入れるが、同様に今年度受け入れた学生もきちんと教育していく必要があるので、数年は二つの大学を動かす必要があると考えている。教員数が限られた単科大学として全く違うコースとなると運営が難しいと考えていることから、スタート段階は、現学科の教育内容を反映したようなプログラムを設定し、進めていく。ただし、その後は、世界情勢や、学生の希望調査を十分に反映した教育メニューを考えていきたい。（学長）